

2006年度 ゆきとどいた教育をすすめる

全国 3000 万署名・推進ニュース NO. 1

発行日: 2006年7月25日 発行: 全教・日高教・教組共闘

3000万署名成功にむけ、決意を固めあう！

—全国 3000 万署名スタート集会 開催—

7月12日、東京・社会文化会館で「第18回全国3000万署名スタート集会」が開催されました。集会には、全国各地の代表と東京私学の父母の550名が参加。集会は各企画が好評で、「署名にとりくむ熱意が伝わる集会でした。署名活動にがんばりたい」等の感想文が寄せられるなど、署名の重要性が確認され、元気に2006年度の署名をスタートさせました。



丸木先生、主催者あいさつ

89年の3000万署名を始める時の呼びかけ人の一人が、和光学園長の丸木政臣先生。先生は、「全国3000万署名スタート集会」に毎年参加してくださり、今年も元気に、出席してくださいました。

丸木先生の主催者あいさつは、参加者に署名運動の重要性を訴える、迫力のあるものでした。

税金は増え、貧しい人は病院を退院しなければならない。アメリカのいいなりで、日本がアメリカの海外への基地を確保するために3兆円貢ぐ。そういう酷いことをやりながら、教育にはお金をかけない。教育予算は圧縮され、削られてきている。本当に貧しいものは学校に行けないし、学校に行くのはやめなさいと。

この状況を見据えた上で、反対だと言っていかなければならないし、要求は要求し続けなければならない。絶対に、私たちは普通教育を守りぬかなければならないと思っている。互いに頑張りましょう

三輪先生のミニ講演

集会では、ミニ講演として、三輪定宣氏に「教育費・教育予算と学費無償化」とのテーマで、昨年に続き、講演していただきました。10枚にわたる資料を用意してくださり、参加された父母の方からは、次のような感想が寄せられるなど、分かりやすく、そして中身の濃い学習となりました。

ミニ講演は、参考になるお話でした。ふだん気にとめないような新聞等の数値などが、身近な問題として実感させられました。日本は防衛・年金ばかりでなく、子どもたちにこそ、大事な税金を使うべきだと思います。将来が心配になりました。(東京父母)

○三輪先生の資料は、全教のホームページに掲載します。各地の学習会等で、ご活用ください。

生徒・父母・教職員の発言も素晴らしかった！

各地から5個人・団体の発言も素晴らしい発言でした。とりわけ大宮商業高の生徒の働きながら学び、定時制の統廃合問題にもとりくむ姿と、和光学園の生徒会が中心となった私学助成のとりくみは、参加者の心を動かししました。また、北海道の檜山からの、15年連続1万筆以上、有権者の3割の署名を集めてきたとりくみの報告は、参加者を大いに励ましました。

○北海道の檜山の石橋さんの発言は、先週各県組織に送付しましたので、ぜひともお読みください。